

島中プロジェクト S

第2号 令和元年12月26日 発行 島守中

「島中プロジェクトS」としての生徒と教員のICT活用の実践

すべての教科にて、タブレットの活用を取り入れた授業を行い、授業の効率化・定着の深化を図るよう全ての教員が工夫をしながら実践を行っている。日常的に生徒がタブレットを使用することにより、ICT活用能力を着実に身に付けている。



図1



図2



図3

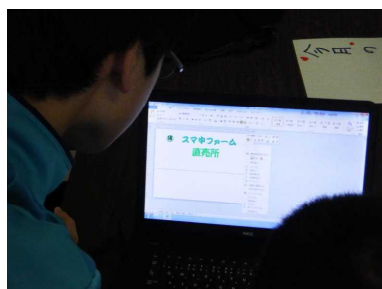


図4



図5



図6



図7

図1は指導側もスキルを高めるために、企業から講師を招いて研修を行った。図2は校内研修にてタブレット活用の授業公開を行い、研究協議にて利点と課題点の検証を行った。

図3と図4は今年度の総合的な学習の時間における活動の様子である。1、2年生の活動は1部学習内容を共有しながら進めている。育てた野菜を地域の方々に広く販売するための構想やパッケージデザインをICTを活用しながら制作に取り組んだ。

図5と図6は朝もやの館館長と町おこしのアーティストを招いてプレゼンを行っている様子である。人的・予算を踏まえ実現が可能であるか。何よりも人を引き寄せるものであるか等、様々な視点からアドバイスをいただいた。図7はP教育財団研

究助成金で入したパソコンである。動画編集用に特化した機能をもっており、3年生を中心に動画編集作業をスムーズに使いこなしている。驚いたことに使い方をほとんど説明しなくても直感的に操作を覚えていく生徒が多く見られた。これも今までのICT活用の取組の成果ではないかと考えられる。このような教科横断的な学習を繰り返しながら、「島中プロジェクトS」の名のもとに5～12月の実践を行った。